

## 日本人類遺伝学会第27回大会記事 (1982)

### Proceedings of the 27th Annual Meeting of the Japan Society of Human Genetics, 1982

- 会 場 東京都千代田区大手町 1-8-3 農協ビル  
 会 期 昭和 57 年 11 月 9 日, 10 日, 11 日  
 大会会長 松永 英 (国立遺伝学研究所部長)  
 大会幹事 岡島道夫, 外村 晶, 笹月健彦 (東京医科歯科大学教授)  
 発 表 特別講演
- 1) 松永 英 (国立遺伝研・人類遺伝) : ヒトの発癌機構研究モデルとしての網膜芽細胞腫
  - 2) 佐々木正夫 (京大・放射線生物研) : 遺伝性発癌素因と染色体突然変異シンポジウム
- 遺伝分析技術の進歩と人類遺伝学 司会 荻田善一 (富山医科薬科大)

#### 第 1 日 (11 月 9 日)

松永大会会長の開会の辞に引き続き、午前中に A, B 2 会場で一般講演 32 題の発表があった。午後は 2 題の特別講演があり、ついで 2 会場で一般講演 24 題が発表された。その後、C 会場で 14 題のポスター・セッションによる発表があった。

#### 第 2 日 (11 月 10 日)

午前中、2 会場で 34 題の一般講演があった。午後は総会議事に引き続いて、シンポジウムと 14 題のポスターセッションでの発表があった。発表終了後、懇親会が開催された。

#### 第 3 日 (11 月 11 日)

午前中の一般講演 31 題の発表と大会会長の閉会の辞をもって、全日程を終了した。

#### 評 議 員 会

日 時 : 昭和 57 年 11 月 8 日 17:00—19:00

場 所 : 学士会館 (一ツ橋)

##### I. 報告事項

1. 物故名誉会員および会員の報告
2. 庶務報告 (黒木幹事)  
会員の異動状況、本年 2 回の理事会開催 (9 月 11 日, 11 月 8 日) について報告があった。
3. 会計報告 (池内幹事)
  - 1) 昭和 56 年度会計報告がなされ、それに対する松永理事による同会計監査報告があった。
  - 2) 昭和 57 年度会計中間報告がなされた。
4. 編集報告 (外村委員長)  
論文の投稿、受理状況等について報告された。
5. 委員会報告

- 1) 学会賞選考委員会報告 (井上会長)  
本年度の授賞は該当者なしと決定された旨の報告があった。(人遺誌 27 巻 1 号, 53 頁参照)
- 2) 人類遺伝学用語委員会報告 (外村委員)  
田中委員長の御逝去により, 委員長選任, 今後の委員会のあり方等について, 本委員会では早急に検討するとの報告があった。
6. 58 年度大会準備状況報告 (松本次期大会長)  
昭和 58 年 11 月 9 日~11 日, 宝塚市, 宝塚ホテルで開催予定との報告があった。
7. 理事担当事項等報告  
国際人類遺伝学会常置委員会 (井上会長): 1986 年開催予定の第 7 回国際人類遺伝学会議の開催地は西ベルリンに決定した旨の報告があった。  
文部省科研費関係 (三輪理事), 学術会議関連 (井上会長), 日本医学会評議員会 (三輪理事) より, それぞれの報告がなされた。
8. その他  
遺伝相談ネットワーク委員会報告書が会長に提出された。この報告書に会長の前文をつけて, 人遺誌に掲載し, 会員に意見を問うことになった。本報告書は今後, 本学会としての統一的な遺伝相談を考える際の資料となるものである。

## II. 協議事項

1. 会長の任期に関する件  
会長の任期問題が討議され, 会則第十一条の改正案文 (下記) が示され了承された。  
第十一条「…… 役員の任期は……を妨げない。……重任はできない。……」を「…… 会長の任期は 4 か年とし再任を妨げない。ただし再任の任期は 2 か年とし, 連続三選はできない。理事の……重任はできない。評議員, 幹事の任期は 2 か年とし重任を妨げない。……」と改める。
2. 59 年度大会開催地, 大会長の件  
荻田善一教授 (富山医科薬科大) を大会長に, 富山市で開催されることが討議の上, 了承された。
3. 名誉会員として N. E. Morton 氏 (米国ハワイ大学教授) が満場一致で推薦された。
4. 故田中克己名誉会員の御遺族よりの本学会への寄付金の使途について討議され, 故田中名誉会員の御遺志に沿う目的に使用する線が了承された。

## 総会議事

### I. 報告事項

- 1) 庶務報告 (黒木幹事)  
会員の異動状況, 理事会の開催について報告があった。

会員の異動状況 (昭和 57 年 4 月 1 日現在)

		現在数	入会	退会	増減
普通会員	国内	829	59	57	+2
	国外	19	4	0	+4
名誉会員	国内	20	1	1	0
	国外	10	2	1	+1
機関会員		94	1	0	+1
維持会員		1	1	0	+1
計		973	68	59	+9

2) 会計報告 (池内幹事)

昭和 56 年度会計報告ならびに昭和 57 年度会計中間報告がなされた。

昭和 56 年度会計報告

取 入		支 出	
前年度繰越金	3,698,618円	雑誌刊行費	2,934,742円
会 費	3,757,129	雑誌発送費	183,771
雑誌売上代	541,380	雑誌編集費	10,000
論文掲載料	368,010	事 務 費	616,553
文部省科研費	1,220,000	会員名簿作成費	286,000
医師会助成金	100,000	大会補助金	600,000
広告掲載料	138,250	I G F 会費	41,640
預 金 利 子	98,635	理事会旅費	105,000
計	9,922,022円	人 件 費	480,000
		次年度繰越金	4,664,316
		計	9,922,022円

昭和 57 年度中間報告 (57.1.1~10.25)

取 入		支 出	
前年度繰越金	4,664,316円	雑誌刊行費	4,140,395円
会 費	2,656,950	雑誌発送費	338,583
雑誌売上代	442,630	雑誌編集費	25,500
論文掲載料	259,749	事 務 費	462,445
文部省科研費	(1,280,000)	理事会旅費	97,900
医師会助成金	100,000	人 件 費	360,000
預 金 利 子	50,021	計	5,424,823円
計	9,453,666円		

3) 編集報告 (外村委員長)

論文の投稿, 受理状況などが報告された。

4) 昭和 58 年度大会の準備状況が報告された (松本次期大会長)。

5) 委員会報告

学会賞選考委員会 (井上会長), 人類遺伝学用語委員会 (外村委員) より報告がなされた。なお, 用語委員会委員長の選任は理事会に一任された。

6) 理事担当事項等報告

国際人類遺伝学会常置委員会 (井上会長) より, 1986 年の第 7 回国際人類遺伝学会議は西ベルリンで開催される旨の報告があった。

文部省科研費関係 (三輪理事), 学術会議関連 (井上会長), 日本医学会評議員会 (三輪理事) よりそれぞれ報告がなされた。

## II. 協議事項

- 1) 会長の任期にかかわる会則第十一条の改正案が提出され、原案どおり了承された (評議員会記録参照).
- 2) 昭和 59 年度大会は富山市で、荻田善一教授 (富山医科薬科大) を大会長として開催する案が示され、了承された.
- 3) N. E. Morton 氏 (ハワイ大学教授) が 40 人目の名誉会員として推薦され、満場一致で了承された.
- 4) その他、故田中名誉会員の御遺族よりの寄付金の使途、用語委員会委員長等に関して協議がなされた.

## 理 事 会

日 時: 昭和 57 年 11 月 8 日 15:00~17:00

場 所: 学士会館 (一ツ橋)

出席者: 井上会長, 松永, 柳瀬, 中島, 三輪, 佐々木, 笹月各理事, 外村委員長, 松本次期大会長, 池内, 黒木各幹事

- 1) 庶務関係では会員の異動状況が報告された.
- 2) 会計関係では 56 年度会計報告と同監査報告および 57 年度会計中間報告があった.
- 3) 編集関係では論文投稿が順調である旨の報告があった.
- 4) 昭和 58 年度大会準備状況報告, および昭和 59 年度大会開催地と大会長案が示された.
- 5) 名誉会員として Morton 氏が推薦された (総会議事記録参照).
- 6) 1986 年の国際人類遺伝学会議は西ベルリンで開催されることになった旨の報告があった.
- 7) 前回理事会に引き続き会長の任期に関する討議がなされ、会則の一部改正案が示された.
- 8) 人類遺伝学用語委員会委員長選任の件、遺伝相談ネットワーク委員会報告書の取り扱いなどについての討議があった (評議員会記録参照).
- 9) 故田中名誉会員の御遺族よりの寄付金の使途について検討された.

(庶務幹事 黒木良和)